



藤中だより

保護者・地域に信頼される学校を目指して

〈目指す生徒像〉

- よく考え工夫して学ぶ生徒(知)
- 人と自分を大切にする生徒(徳)
- 心と体を粘り強く鍛える生徒(体)

令和7年6月2日 校長 竹田 聡

5月は土日に雨が多く降り、肌寒く感じる日が続きましたが、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

5月16日(金)の「ふれ合い除草」では、たくさんの方にご協力いただきありがとうございます。昨年度から樹木選定が進んだこともあり、明るく整った環境で体育祭を行うことができました。5月24日(土)の体育祭では、ご家族の応援が子どもたちの大きな力になりました。特に、テントの準備片付けはとても助かりました。

6月は運動部の3年生にとって、最後の大会「学校総合体育大会」があり、鶴ヶ島市では大会2週間前から朝練習、土日両日の練習ができます。大会がよいコンディションで迎えられるように、健康管理を中心に、ご家庭のご理解、ご協力をよろしくお願いします。

<第47回藤中体育祭を終えて>

少し肌寒い曇り空の下、5月24日(土)に、体育祭を開催しました。

昨年度までの団対抗はなくなり、本年度は学級対抗のみとなりました。それでも、応援団長を中心に、前年度と変わらない大きな声援が響き、藤中らしい体育祭となりました。保護者の皆様には、当日の運営、準備片付け等にご協力いただき、ありがとうございました。

各団の団長から

3年1組 緑団団長

緑団は、全学年が協力し、応援し合える最高の団だったと思いました。みんな団結力とメリハリがあり、指示が通りやすく、とても助かりました。これで緑団として活動することはなくなりますが、まだ球技大会もあるので、緑団として全力で頑張っていきましょう！最高な体育祭をありがとうございました。

3年2組 赤団団長

今年の赤団は、団結力が素晴らしかったです。それを感じられたのは、全員がお互いを全力で応援していたところから、感じることができました。これからの学校生活や行事等で、今回得た団結力を発揮する場面があると思います。その時は、体育祭での経験を思い出してください。ありがとうございました。

3年3組 青団団長

青団は、全学年とても明るく、元気に体育祭に挑みました。結果は優勝できなかったけれど、体育祭への思いは青団が一番だと思います。1, 2年生は来年の体育祭を全力で楽しんでください。3年生は今年で最後ですが、残りの時間を悔いなく過ごし、これからも藤中を盛り上げましょう。ありがとうございました。

3年4組 黄団団長

黄団の全員は、お互いに熱く応援できる団でした。体育祭は負けてしまいましたが、最後まで諦めず、全力で取り組んでいて、とても良かったです。初めての団長でしたが、みなさんのお陰で無事にやり切ることができました。来年も体育祭があるので、僕たちを超えるくらい盛り上げられるようにしてください。

3年5組 桃団団長

桃団は、みんなで声を掛け合って、助け合っていた団だと思います。団練習の時も、誰かが失敗してもめげずに、前向きな声かけが聞こえていました。全員が全力で頑張っていたので、本当に感動しました。一人ではなく、仲間が居たから乗り越えられたことが、たくさんあるので、これからも仲間への感謝を忘れずに過ごしましょう。

体育祭の結果		1年	2年	3年
学年優勝		3組	1組	1組
全員参加 種目	学年種目	4組	1組	1組
	長縄跳び	3組	1組	2組
	クラスレー	2組	2, 3組	1組

<勝っておごらず 負けてくさらず>

閉会式では、私は次ように話しました。

最初に、感謝、お礼を伝えます。素晴らしい体育祭を創り上げたみなさん、そして、最後まで熱い声援をくださった、保護者、卒業生のみなさん、ありがとうございます。

次に、学年優勝の皆さん、おめでとうございます。心よりお祝いの言葉を贈ります。残念ながら優勝に届かなかった団の皆さん、やはり「悔しい気持ち」があると思います。この「悔しい気持ち」はとても大切な感情です。それは、皆さんが本気で取り組んだ証拠だからです。ですから、「勝ち負け」は、本気で取り組むためのツールであって、目的ではありません。大切なことは、「悔しい気持ち」の処理の仕方です。自分に向ければ自分の伸びしろ、成長する可能性が広がります。人向けると、「憎しみ」になります。それは、私が望むことではありません。

体育祭が終わると、私は「勝っておごらず、負けてくさらず」と話しています。「勝っておごらず」とは、「謙虚な勝者」であることです。勝った「嬉しさ」を人向けると、「恨み」を買うことになります。「負けてくさらず」とは、負けたからといって、否定的に考えないことです。否定的に考えると、みじめな気持ちになります。

最後に、サッカーやラグビーのように「ノーサイド」を宣言します。今を境に、敵味方なく藤中の仲間として、成長することを期待しています。そして、1,2年生は藤中の体育祭を素晴らしい行事としてしっかりと引き継いでください。3年生はこれからも最上級生として、下級生に手本を示してください。

勝負事に関する人生訓は、たくさんあります。「勝って兜の緒を締めよ」、「負けるが勝ち」、「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」…。勝ち負けの「嬉しさ」、「悔しさ」は、心の成長に役立つ面もあれば、人を傷つけてしまう面もあります。そのことに気付き、学ぶことが重要です。学校行事や大会を通して仲間を大切にできる人に成長することを願っています。

ご家庭でも、安易に不快な感情を人に向けないように声かけをお願いします。

<中間テストを終えて：家庭での学力向上策>

1年生にとって、初めての定期テストがありました。小学校のテストと異なり、戸惑いもあったことと思います。定期テストは、学習状況を確認するためのものです。ですから、テスト後に、これまでの学習の取組を振り返ることが大切です。ご家庭でも、次のような視点でお子さんと一緒に振り返ってください。

<お知らせ> 教科書展示会が坂戸市立教育センター他で6/10(火)～7/11(金)に開催されます。

本校の学校運営協議会を6/3(火)、9/25(木)、11/25(火)、2/12(木)、3/19(木)の午後
に予定しています。傍聴をご希望な方は学校までご連絡ください。

はじめに バランスよく

勉強は食事と似ています。食事は、自分の好きなものや手軽なものに偏りがちです。嫌いのものでも栄養面を考えて、バランスよくとることが大切です。勉強も好きな教科や手軽な勉強に偏らないように確認してください。「これをやれば必ず成績が上がる」という方法はありません。自分に合った方法が見つかるまで、一緒に勉強法を考えてください。

ポイント1 テストを保管する

テストで大切なことは、同じ間違いを繰り返さないことです。そのために、問題と答案を保管する習慣をお勧めします。そして、間違えた理由も記録すると、対策が決まります。覚えていないなら、覚え方を工夫したり時間を増やしたりする必要があります。また、間違えた問題をファイルにまとめたり、カードにしてつづたりすると、見直しも合理的にできます。

ポイント2 できる問題を確実に

テストが返却されると、思わぬミスがあります。人の集中できる時間は10～15分と言われます。1教科50分間を集中し続けることはとても難しく、簡単なミスはつきものです。高校入試では、同じくらいの学力の生徒と競うこととなりますので、できる問題を間違えないことが大切です。そのために、問題を解く順番や、かかった時間を振り返り、次に生かすとケアレスミスも減ります。

ポイント3 基本から実践へ

勉強の最初は、基本的なことを覚えたり、理解したりすることです。そこで勉強を終えずに、問われ方と答え方まで取り組むと、テストの結果も伴ってきます。スポーツでも基本的な練習だけで勝てないように、定期テストに近い条件で、実践的な勉強をすることが大切です。テスト前に、覚えるために使った時間と練習問題等を解くために使った時間を確認してください。

ポイント4 数字を適切に活用する

平均点や順位、偏差値は自分の力を相対的に把握するための数字です。ミスをせず、自分のベストを出せていたら、どのような結果だったのか予想し、励ましてください。大切なことは、自分でコントロールできることを考える習慣です。平均点や順位は自分ではコントロールできないことに注意してください。

終わりに 言葉に注意

点数や順位だけで評価したり、人と比べて否定的な言葉をかけたりすると、中学校または高校で伸びなくなります。特に、兄弟姉妹の比較は止めてください。できないと責めず、できることを一緒に増やすようにお願いします。